

保護者の仲間づくりを支える ～めばえレクリエーションクラブの取り組み～

めばえ学園

～ 特集 「第12回研究・実践成果発表会」 第2部 研究・実践成果発表から ～

1. はじめに

めばえ学園では、平成24年度より単独通園部門を中心に、家族支援の充実を図ることを目的とした、めばえレクリエーションクラブという取り組みを開始しました。

この取り組みと参加者アンケートの分析を通して、家族支援としての意義を検証しました。

2. めばえレクリエーションクラブの概要

①目的

保護者の楽しみ、保護者のリフレッシュ、保護者同士の交流

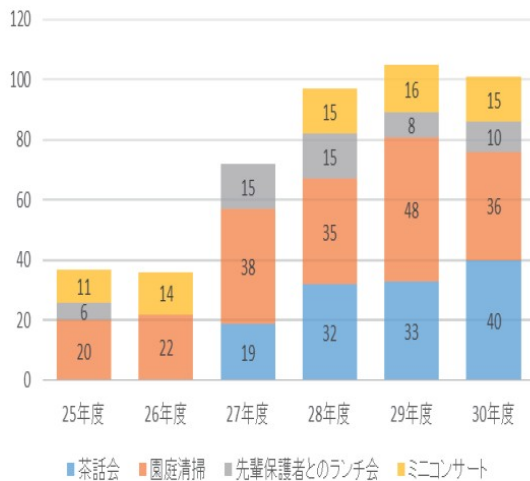
②内容

園庭清掃、先輩保護者とのランチ会、茶話会、ミニコンサート等

開始当時は、園主導で実施してきましたが、平成27年度から、保護者会の企画が増加し、現在は、保護者会が主体となって企画・案内文の作成及び配布、会場手配等の運営を行っています。

平成25年度から平成30年度の参加者数は、図1のとおりです。平成29年度以降は参加者が延べ100人を越えました。

図1 めばえレクリエーションクラブ参加者数



3. 対象と調査方法

アンケート調査の対象は平成30年度に在籍した単独通園部門園児3～5歳児の保護者46人となりました。

アンケートは無記名とし、各設問は選択肢での複数回答可とし、自由筆記欄を設けました。

4. 結果

アンケートは40人から回答があり、回収率は86%でした。そのうち26人が参加していました。結果から以下のことがわかりました。

①参加できなかった方について

不参加者は14人でした。理由は就労8人、きょうだい児4人、保護者の体調不良3人、その他1人でした。自由筆記欄には、「なかなか都合がつかず参加できていませんが、今年度は参加したいと思っています。参加できることを楽しみにしています。」という感想があり、ニーズがあっても参加できない保護者がいたことがわかりました。

②参加してよかった活動

